

葛飾区議会 自民党だより

2020年第1回臨時会・2回臨時会・2回定例会



新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書を区長に提出

第1回臨時会

5月	1日	本会議（議案の議決）
----	----	------------

第2回臨時会

5月	15日	本会議（議案の付託、議決等） 常任委員会（保健福祉、建設環境、文教、総務） 議会運営委員会
----	-----	---

第2回定例会

6月	4日	本会議（一般質問等）
	5日	本会議（一般質問、議案の付託）
	8～11日	常任委員会（保健福祉、建設環境、文教、総務）
	15～17日	特別委員会（地域活性化・区民サービス向上対策、危機管理対策、都市基盤整備）
	19日	議会運営委員会
	22日	本会議（議案の議決等）

新型コロナウイルス感染症対策 関連予算などを全会一致で可決 一般会計補正予算（第3号）など 区長提出議案等 29件を可決

第1回臨時会では、令和2年度一般会計補正予算（第1号）をはじめとする区長提出議案3件が可決されました。

第2回臨時会では、令和2年度一般会計補正予算（第2号）の区長提出議案1件が可決されました。

第2回定例会では、9名の議員から区政一般質問が行われました。また、令和2年度一般会計補正予算（第3号）をはじめとする区長提出議案など29件が可決されました。

区政を聞く一般質問（要旨）

中高生の居場所整備の推進と文化資源継承の取り組みを



池田ひさよし 議員

- (1) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う行財政運営
- (2) (仮称) 子ども未来プラザ小菅の整備における中高生への対応
- (3) 本区の住宅政策と良好なマンション建設に向けたルールづくり
- (4) 文化資源を活用したまちづくり

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う行財政運営

問 現状に鑑みると減収は避けられないと考える。限られた財源で、どのような考えの下で財政運営を行っていくのか伺う。

答 歳出抑制も視野に入れながら、国や都の補助金などの特定財源の確保はもとより、今まで抑制してきた基金や起債の活用なども含め、危機感を持って財政運営に当たっていく。

※他の質問項目 職員の体制など

(仮称) 子ども未来プラザ小菅の整備における中高生への対応

問 中高生が身近で自由に利用でき、気軽に悩みを相談したり交流できる拠点が必要である。子ども未来プラザを拠点施設と位置付けて、必要な場所の確保や整備を実施することが重要であると思うが、区の考えを伺う。

答 思春期を生きる中高生に、学校や家庭以外の活動の場があることは大切だと考える。子ども未来プラザでは、福祉職・看護師等の専門職員を配置するとともに、開館時間を20時までとしたほか、多様な活動に応じられる設えとしている。中高生にとっても地域の拠点となるよう、今後もきめ細かくニーズに対応していく。

※他の質問項目 既存施設の検証結果の反映など

本区の住宅政策と良好なマンション建設に向けたルールづくり

問 住宅政策において、マンションをどのように位置付け、指導・誘導していくのか伺う。

答 住宅基本計画において、住宅の適正な維持管理による有効活用や、高齢化、地球環境問題、防災への対応など住宅の質的充実を誘導しながら、次世代に継承できる良好・良質な住宅の形成に努めていくこととし、安心と愛着の住まいと暮らしの実現に向け、各種施策を進めている。

※他の質問項目 地域住民や区への説明と協議など

文化資源を活用したまちづくり

問 水元小学校旧校舎は大正期の木造校舎として都内では数少ない貴重な建物である。メンテナンスを行い、積極的に区民に公開していただきたい。

答 同校舎は区指定有形文化財であり、3年ごとに建築基準法に基づいた点検を行うなど、適切な保存・管理に努めている。公開は、専門家や地元の意見を伺いながら、他自治体の手法などの調査・研究を重ねていく。

※他の質問項目 観光資源・歴史的資産としての葛西城跡の整備など

区でのA I等の積極的活用と臨時休業後の手厚い学習支援を



高木信明 議員

- (1) 新型コロナウイルス流行による再開事業への影響
- (2) I等を活用した業務効率化
- (3) 臨時休業中及び学校再開後の学習支援及び家庭学習の在り方
- (4) 健康と安全に配慮した自転車活用の推進

新型コロナウイルス流行による再開事業への影響

問 新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえ、再開事業の関係事業者の意向や動向をしっかりと把握し、将来の影響を十分考慮しながら、先を見据えて事業を進めていく必要があると考えるが、区の見解を伺う。

答 本区のまちづくりへの今後の具体的な影響を見通すことは、現時点では困難であるが、状況の変化に柔軟に対応しながら、事業を進めていくことが重要と考えている。今後とも、不動産や建設業界の活動状況をはじめ、デベロッパーなどの事業関係者の動向などに目を配りながら、再開準備組合などの活動を積極的に支援し、持続可能なまちづくりを着実に進めていく。

※他の質問項目 現庁舎敷地の活用 A I等を活用した業務効率化

A I等を活用した業務効率化

問 区では、今後どのようにA I等を活用していこうとしているのか。

答 今回の新型コロナウイルス感染症対応や現役世代が急減し労働力不足が問題となる2040年問題を踏まえると、A I等の先端技術を駆使するスマート自治体への転換が必要である。特別区長会調査研究機構での調査研究結果や他自治体の動向なども踏まえ、A I等の先端技術を積極的に活用して、業務の効率化を図り、区民満足度を高められるようサービスの質的・量的向上を推進していく。

※他の質問項目 活用の現状など

臨時休業中及び学校再開後の学習支援及び家庭学習の在り方

問 学習の遅れにどう対応していくのか。

答 夏季休業の短縮による授業時数の確保や行事の精選を行い、学校での学習指導を充実させていく。

問 国が示す家庭学習を指導計画に位置付けて評価することを検討する必要があると思うが、区の見解を伺う。

答 指導計画に位置付けた上で、適切に評価に反映できるようにしていく。

※他の質問項目 ICT学習など

健康と安全に配慮した自転車活用の推進

問 民間と連携し、公共施設の敷地の提供などによるシェアサイクル導入の検討に対する区のを伺う。

答 民間事業者がコンビニエンスストアを拠点としたシェアサイクル事業を展開しており、区では、本年度、自転車活用推進計画を策定する中で、区民や来訪者が快適に利用できる環境づくりに向け検討する。

※他の質問項目 自転車事故防止対策

—— より良い葛飾を目指して ——

ホームページにて活動や報告
など随時更新しています！

🔍 葛飾区議会 自由民主党議員団

検索

自由民主党

お気軽にご意見をお寄せください！

<https://jimin-katsushika.com>

